ねがい実現に3期12年尽力！
これからもがんばります

●国保料引き下げを

市民の声を議会で取り上げ、民主商工会や尼崎社会保障推進協議会のみなさんと力合わせて市に要望書を提出するなど、積み上げてきました。

その結果、①貯金もそれほどなく生活に精一杯の世帯の滞納処分はしない　②業者の運転資金（売掛金）は滞納処分の対象としないなど市に約束させ、喜ばれています。

また、年収300万円の30代夫婦・子2人世帯の場合、尼崎の国保では年額保険料43万円に対し協会けんぽ(中小業者が加入の健康保険)では20万円と、いかに国保が高いかを議会の場で具体的に示してきました。

マイナ保険証については、「登録解除」ができることを市民周知せよと求めました（2024年12月25日付で102件の申請あり）。

●学校トイレ洋式化急げ

共産党議員団は2022年度学校の夏・冬休みを利用して、築40年を超える全ての小・中学校を視察しました。視察でびっくり、校内に1つ洋式トイレがあっても各棟各階にあるわけではありません。市は「トイレ洋式化が65%になった」と言いますが、子どもや保護者から洋式化の要望が絶えない訳が分りました。

また床がきしんだりささくれ立っていて、部分的に補修されていたり、雨漏りのしみが目立ちました。

議会で取り上げ、①トイレ洋式化のスピードアップ②学校施設設備費の増額を実現しました。また教育費の「不用額」を精査し、年度途中で補修費などに充当するよう指摘しました。

くらし・教育 まもる 尼崎市政に

●介護保険の充実を

尼崎では今年度65歳以上の介護保険料が増額されました。標準保険料でみると、介護保険が始まった2000年の2.76倍にもなっています。

この24年間高齢者人口が増え当然要介護者は増えているのに、国の補助は25%と変わりません。負担増は国民とケア事業者に押し付けられてきました。

日本共産党は、国の補助を35%に増やし、金額にして後1.3兆円増やせと求めています。

今年度訪問介護事業所の報酬単価が引き下げられました。その影響で、尼崎では11事業者が廃業になっています。実態調査をせよと求めています。

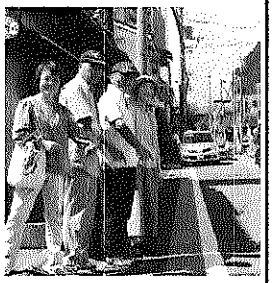
●こどもの医療費 18歳まで無料に

22・23年度で尼崎のこどもの医療費助成がう～んと前進しました。30年にわたって市民のみなさんが声を上げ続け、議会で共産党議員団が頑張ってきた共同の成果です。

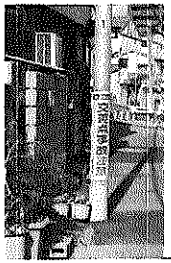
しかし「無料」なのは就学前と低所得世帯の小・中学生だけです。中卒～18歳は大人と同じ3割負担です。どの子の「豊かにすこやかに育つ権利」を守るために、18歳までの無料化めざし更に力を尽くします。

みなさんの声を形に

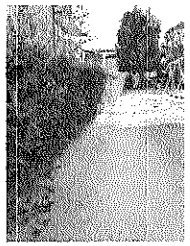
2024年1月4日
能登支援の募金活動



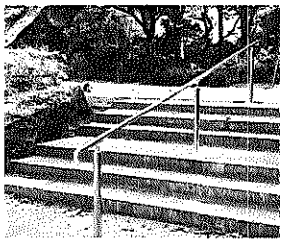
園田南小の通学路
子どもの列が道いっぱいに広がってしまうので、グリーンベルトを設置させました。子どもたちはルールを守っています。



久々知２丁目電柱に「交通事故注意」
自宅前の生活道路の交通量が増え、「いつ事故が起きるか心配」との声に対応しました。



潮江公園のフェンス
５年前にブロック塀がフェンスに替わりました。「家の中が丸見え。砂ほこりがひどい」と声が上がり、市と相談し生垣を。５年たちりっぱな緑の壁になりました。



近松公園
公園利用者の方々の声で手すりが設置されました。